

徳島県立川島中学校 「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- ①「主体的に学び、活動する力を伸ばす授業の確立」
- ②「自ら課題を見つけ、解決していく学習の定着」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 教諭 山野井 貴子	委員 教頭・統括補佐: 中村ゆかり 教諭・2学年主任: 岡本治 教諭・国語科主任: 尾嶋麻子 教諭・英語科主任: 岡田朋子 教諭・進路指導主事: 上野ひとみ	教諭・1学年主任・理科主任: 片岡弘己 教諭・3学年主任・社会科主任: 中川博之 教諭・数学科主任: 柴田宗忠 教諭・教務主任: 東出稔
-----------------------------	--	---

校長 林 博子

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 授業態度がまじめであり、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。漢字の読み書き、計算問題など基礎的知識の習得と定着が見られる。	①学習活動を支える基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけている。 ②宿題や提出物が確実にでき、家庭学習の習慣が身につけている。	定期テストで5教科の平均が、70点以上に達する生徒の割合が60%以上をめざす。			
課題 国語では言語事項の知識、英語では文法事項を整理して活用することに課題がある。	①辞書(国語・英語)を引く習慣を身につけさせ、語彙力の向上を図る。 ②自主学习ノート「至誠ノート」を使って、家庭学習の習慣化を図るとともに、質問タイム・補充学習の効果的な実施を行う。	①辞書(国語・英語)を引く習慣が身についたと回答する生徒の割合が70%以上。 ②自主学习ノートの提出率100%をめざし、定期テスト前後の個々の指導の充実を図る。		評価	次年度における改善事項

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 個人や班の考えをまとめて文章表現し、相手に伝える手段や方法を身につけてきている。	自分の考えを明確にして書いたり話したりできるとともに、生徒相互が学び合い、他者と協働して課題を解決する力を身につけている。	「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが得意である」と回答する生徒の割合が50%以上。			
課題 複数の資料を比較することや、必要な情報を取り出すなどして、自分の考えを他者にわかりやすく表現することに課題がある。	①全ての教科で、根拠を明確にして説明したり、伝え合ったりするためにホワイトボードを活用する場面を設定し、言語活動の充実を図る。 ②読書活動を推進し、表現力と幅広い視野を育成する。	①各教科で、各単元に1回以上はアクティブラーニングの機会を設定する。 ②年間生徒1人当たりの読書冊数が5冊以上をめざす。		評価	次年度における改善事項

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 様々な体験活動や学校行事において、仲間と協力し、工夫した活動ができる。	①自ら課題を見つけ意欲的に学習したり、人との関わりや様々な学習体験の中から課題を解決したりできる。 ②自らの目標に向けて計画的に家庭学習ができる。	「わからないことや疑問に思うことは、自ら調べたり教員に質問したりしている」と回答する生徒の割合が80%以上。			
課題 わからないことや疑問に思うことを、自らの主体的な取組により解決しようとする意欲に課題がある。	①中高一貫教育校の特色を活かした活動を年間2回以上計画実施する。 ②自主学习ノート「至誠ノート」を使って、主体的・自主的な家庭学習の指導を図る。	①「ようこそ先輩」での授業を計画し、高校生を学びのモデルとする。 ②家庭学習の時間を1日2時間以上にする。		評価	次年度における改善事項

平成29年度 学力向上ロードマップ

